

Open Mobile Alliance、新公開仕様を市場展開用候補として提供

大韓民国、ソウル—(MARKET WIRE)— 2006年9月25日—国際的規格設定団体であるOpen Mobile Alliance(OMA)は、Client Side Content Screening Framework Enabler Version 1.0およびGames Services Client Server Interface Enabler Version 1.0を市場展開用の候補仕様として公共使用可能にすると発表しました。いずれも業界初のこのふたつの仕様は、OMAの「相互運用テストプログラム」(Interoperability Testing Program,)に加えられ、手直しをして基準を改善した後、完全なApproved Enabler Releaseとして公開されます。

OMAの理事長であるJari Alvinenは、以下のように語っています。「われわれの会員は、相互運用性への挑戦に応え、ユーザー・産業両者のニーズに役立つ、新しく革新的な方法に対する市場の要求に答え続けています。Games Services Working Groupの参加者の増加と端末の安全性の脅威に関する懸念の増大により、この2つの最新Enabler Releaseを実施することになりました。成長を続ける我々のレパートリーにこの仕様に加わることを誇りに思っています」。

悪意あるコンテンツの出現

新しいClient Side Content Screening Framework Enabler仕様は、モバイル端末内に備わっているapplication enabler(アプリケーション・イネーブラー)を使用するためのフレームワークとインターフェースを定義します。同仕様は、悪意あるコンテンツの検知・除去のためモバイル端末上のデータをスキャンし、アプリケーションがOMAコンテンツ・スキャン機能と相互作用する方法を定義します。これにより、複数のスクリーニング・プロトコルが協働して、潜在的リスクを検知・除去し、モバイル市場内を複数のネットワークとデバイスを通じて伝播する新興の脅威に対する効果的な対抗手段を供給します。

OMA Technical Plenary会長であるMark Cataldoは、以下のように述べています。「リッチなコンテンツが入手可能になるにつれ、端末に送られる悪意あるコンテンツの増加に対して効果的な対抗手段を取る必要が出てきました。OMA Client Side Content Screening Frameworkの目標は、自己拡散するウイルスやワームのようなより危険な変異形がネットワークやユーザーに大惨事をもたらさないうちに、モバイル環境に向けた顧客側のコンテンツ・スクリーニング技術の開発を促進することです。加えて、OMAでは、仕様をさらに開発して、特定のタイプのコンテンツからのモバイル機器への脅威に対する保護に取り組み続けています」。

新標準に関する詳細な技術仕様書は、

http://www.openmobilealliance.org/release_program/Client_Side_CS_FW_v1_0.html をご覧ください。

モバイル・ゲーム用の **Client-server interoperability**(クライアント・サーバー相互運用性)について

OMA の第 2 次ゲーム・サービス仕様は、モバイル端末上で作動するゲームがゲーム・サーバーと相互運用方式で相互作用できるようにします。これにより、飛躍的にリッチなゲーム・コンテンツの広範な配備が容易に行えるようになります。この Enabler を通して接続したモバイル・ゲームは、複数のサービス・プロバイダーのゲーム・プロバイダーと一貫した方法で相互作用することが出来、多人数参加型ゲーム、チャット、高得点共有などの魅力的なサービスを消費者に向けて提供することが出来ます。

OMA Games Services Working Group の会長である Kevin Mowry は、以下のように述べています。「ゲーム・コミュニティおよび双方向性がより多様化し、地域を超えて広がるにつれ、相互運用性への需要が高まっています。市場の動きに対応した OMA の仕様は、ゲーム価値連鎖に関わる全関係者が自信をもって作品のグローバルな拡張に投資することを可能にします」。

新標準に関する詳細な技術仕様書は、**Please visit**
http://www.openmobilealliance.org/release_program/gc-csi_V1_0.html をご覧ください。

OMA Release Program (OMA リリース・プログラム)について

現在までに、OMA は、49 の Enabler Release を発表しています。OMA は、メンバー製品・サービスの機能遂行ならびに Enabler 仕様を有効化する相互運用プログラムを継続的に運営しています。明確な枠組みを持つ作業過程を通して、Enabler Release Program は、各イネーブラーが 2 つの画期的な主要ステップを取るよう構成されています。

-- Candidate Enabler Release (CER) は、承認済みの公開技術仕様である Candidate Enabler Release (CER) を配信し、製品やアプリケーションに実装し相互運用性をテストできるようにします。

-- Approved Enabler Release (AER) は、Candidate Enabler Release の中で、OMA の相互運用性プログラム (IOP) を通過した仕様です。IOP テストは、OMA 内あるいはその他のメディア経由のいかんを問わず、異なるメンバー企業間の相互運用性をテストします。

詳細は、以下のサイトをご覧ください。

http://www.openmobilealliance.org/release_program/index.htm.

Open Mobile Alliance (OMA) について

Open Mobile Alliance (OMA) は、国、通信事業者、固定化あるいはモバイルの全域にわたり機能する相互運用可能なサービスを創出する公開仕様を交付します。データ・サービスへのユーザーのニーズと拡大する市場に推進されて、Open Mobile Alliance のメンバー企業は、新しく質の良い情報、コミュニケーション、エンターテインメント・サービスの採用を促進しています。Global Mobile Alliance には、ワイヤレス価値連鎖の全域にわたる主要セクションから貢献者が参加しており、サービスおよびアプリケーションのタイムリーで有効な導入に貢献しています。

Open Mobile Alliance (OMA) の名前およびロゴは Open Mobile Alliance の登録商標です。本記事に記載されたその他の製品名および企業名は、それぞれの所有者の登録商標あるいは商標名です。

問合せ先：

Alexis Braden

Ketchum Public Relations

415.984.6164

alexis.braden@ketchum.com

資料提供： Open Mobile Alliance